

世田谷文化生活情報センター 生活工房 アニユアルレポート 2020

Lifestyle Design Center
Annual Report 2020
April 2020 - March 2021



「生活工房 バックヤード展」に出品されたものたち（40頁参照）



「展覧会」「ワークショップ」「セミナー」「地域と市民活動」の4つの事業を主として生活工房は運営されています。

Lifestyle Design Center primarily supports the four programs of exhibitions, workshops, seminars, and local and regional activities.

展览会

新たな発見が暮らしを彩る New Discoveries Embellish Daily Life



生活工房ギャラリーやワークショッフルームでは、デザインやクラフト、異文化など多角的なテーマで展示を実施しています。

Exhibitions on diversified themes such as design, crafts, and foreign cultures are held in the Seikatsu-Kobo Gallery and the Workshop Rooms.

ワークショップ

多彩なモノづくりを楽しむ

The Joy of Making Things



参加者が手や体を動かしながら「考え」「つくる」ワークショップでは、子どもから大人までが楽しめる多彩なプログラムを実施しています。

A variety of programs are held where participants of all ages can move their hands and bodies as they enjoy “think” and “make” workshops.

セミナー

社会を知る、学びを楽しむ
Understanding Society, Enjoying Learning



専門家やクリエイターを招き、暮らしや文化に関する生きた言葉に触れるさまざまな講演やトークイベントを実施しています。

Experience living words on life and culture in various lectures and talk events given by specialists and creators.

地域と市民活動

地域とつながる
Connecting with the Region



地域の活動と交流を支援し、多様な価値観や共感の輪を広げ、ネットワークを構築し豊かな地域づくりのお手伝いをしています。

We assist with region-building by supporting area and regional activities and exchange, widening the circle of various values and sympathies, and creating vibrant networks.

物や情報が溢れる時代。

生活工房は「モノ」だけでなく
「コト」に光をあて、

小さな物語に耳を傾けます。

観たり、触つたり、

感じたりする体験を通して、

本当の豊かさや、

大切にしたい文化を

ともに考える場をつくります。

暮らしが根っこに触れること、

なぜだろうと考へること、

対話することを大切にしています。

**Lifestyle Design Center is
the crossroad of life and design.**

In an age overflowing with things and information. Lifestyle Design Center illuminates the intangible as well as the tangible, paying attention to small stories. Through the experience of seeing, touching, and sensing, we ask: what is true abundance, what is culture? We value the creation of a space for dialogue, to touch on the roots of life and ask each other why.



- 42 40 38
 - 36 35 34
 - 52 51
- 生活工房アーカイブ展
渦巻く智恵 未来の民具 しめかざり
- 世田谷アートフリマつながり展2020
第6回世田谷区芸術アワード『飛翔』
生活デザイン部門受賞作品展
未来に伝えるせたがや今はなし
- 渦巻く智恵 未来の民具 しめかざり
- 生活工房バッカヤード展
大平農園と畑のレシピ帖展

- 42 40 38
 - 36 35 34
 - 50 49
- Exhibition 展覧会 事業報告

- 10 生活工房の生活調査2020—2021
- Seminar / Local Community セミナー／地域と市民活動 事業報告

- 6 5 3 2 生活工房とは
生活工房の事業
目次
- 6 5 3 2 生活工房と新型コロナウイルス感染症の一年

Special Contents 特集

「渦巻く智恵 未来の民具 しめかざり」展より（38頁参照）

撮影＝本田大友



- 64 62 58 56 54 生活工房施設ガイド
数字で見る生活工房
生活工房フライヤーズ
生活工房アニユアルレポートの10年
協力先一覧

- 48 第47回世田谷おはなしネットワーク講演会
『サツちゃん』の詩人・父・阪田寛夫を語る／
朗読講座 豊かなことばの世界
- 49 10代に向けたセミナー
「OrHimeで会いにゆく——
孤独を消すためのテクノロジー」
- 50 世田谷市民活動支援会議／
ZPO・市民活動のためのステップアップ講座
「これから時代における
市民活動のつながりを考える」



新型コロナウイルス感染症関連事項

生活工房関連事項

生活工房と新型コロナウイルス感染症の一年

12月 31日 中国がWHOに対し、武漢市で原因不明の肺炎のクラスターが確認されたと報告

1月 14日

WHOが新型コロナウイルスを確認

1月 15日 国内で初の感染者確認、武漢に渡航した中国籍の男性

2月 28日 国内で初めて、渡航歴のない日本人の感染を確認

3月 30日 WHO、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言

2月 2月 3日 乗客の感染が確認されたクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」が横浜港に入港、船内で約2週間隔離

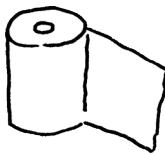
3月 13日 WHO、新型コロナウイルスを「COVID-19」と命名

3月 11日 国内で初めて感染者が死亡、神奈川県在住80代女性

3月 28日 安倍首相、全国すべての小中高校に臨時休校要請の考え方を示す

3月 27日 北海道知事、独自に「緊急事態宣言」を発出

3月 26日 末頃 トイレットペーパーの買い占めが起こる



7

6



2020

2019

1月 14日

2月 28日 国内で初めて、渡航歴のない日本人の感染を確認

3月 30日 WHO、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言

2月 2月 3日 乗客の感染が確認されたクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」が横浜港に入港、船内で約2週間隔離

3月 13日 WHO、新型コロナウイルスを「COVID-19」と命名

3月 11日 国内で初めて感染者が死亡、神奈川県在住80代女性

3月 28日 安倍首相、全国すべての小中高校に臨時休校要請の考え方を示す

3月 27日 北海道知事、独自に「緊急事態宣言」を発出

3月 26日 末頃 トイレットペーパーの買い占めが起こる



7

6



4月 24日 東京五輪・パラリンピック、1年程度延期が決定

4月 29日 下旬 アメリカの各州で都市封鎖が相次ぐ

4月 1日 タレントの志村けんさんが新型コロナウイルスによる肺炎で死去

4月 16日 安倍首相、全世帯に布マスク2枚ずつ配布の方針を表明

4月 7日 7都府県に緊急事態宣言発令

4月 8日 国内の死者100人を超える(クルーズ船除く)

4月 11日 世界全体の死者10万人を超える

4月 16日 「緊急事態宣言」全国に拡大、13都道府県は「特定警戒都道府県」に

4月 18日 国内の感染者1万人を超える(クルーズ船除く)

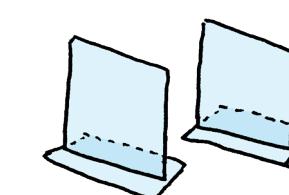
4月 23日 女優の岡江久美子さんが新型コロナウイルスによる肺炎で死去

5月 4日 政府、「緊急事態宣言」を5月31日まで延長

5月 14日 政府、緊急事態宣言を39県で解除、8都道府県は継続

5月 21日 関西で緊急事態宣言解除、首都圏と北海道は継続

5月 25日 緊急事態宣言解除



2020年
6月 ← 1月

6月 28日

6月 15日 厚生労働省、布マスクについて、おもね配布完了したと公表

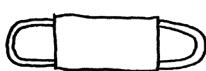
6月 30日 中止となつた展覧会の代替企画として、
6月 17日 生活工房アーカイブ展パート1
6月 16日 世田谷文化生活情報センターが段階的に再開する
(国際交流センターは6月2日から)
世田谷区のガイドラインに基づき収容率(利用定員)を
50%以内として、セミナールーム、ワークショップルーム、市民活動支援コーナーの
貸出を再開する

6月 15日 生活工房施設内に消毒・抗菌コーティング実施
「日常を見限らない」開催(～7月12日)

生活工房と新型コロナウイルス感染症の一年

2021年

1月 ← 7月



9

8

2020年

7月

7月 13日 WHO、事態悪化を警告「多くの国が誤った方向に」

22日 東京除き「Go To トラベル」キャンペーン始まる

28日 国内の死者1000人を超える(クルーズ船除く)



7月 13日 「朗読講座 豊かなことばの世界」7月期から再開(4月期は中止)

7月 14日 生活工房アーカイブ展パート2「哲学対話PARASHIT」開催(～8月16日)

7月 14日 生活工房アーカイブ展パート2「朗読講座 豊かなことばの世界」7月期から再開(4月期は中止)

7月 14日 タブロイド判リーフレット「夏の「おうちで」子どもワークショップ2020」発行、自宅で楽しめるワークショップツールとして実施

7月 14日 区立小中学校を通じ全生徒配布

7月 14日 特集した「季刊生活」特別号発行

7月 14日 夏の子どもワークショップ「日常探検LABO」を開催

7月 14日 テレ(遠隔)ワークショップとして実施

7月 14日 会期半ばで閉幕した「世田谷クロニクル」展を

7月 14日 特集した「季刊生活」特別号発行

9月 9日 世界の製薬会社など9社がワクチン開発に関し共同で宣言、「安全最優先」を強調

9月 9日 「世田谷アートフリマつながり展2020」開催(～10月11日)

28日 世界全体の死者100万人を超える

10月 1日 「Go To トラベル」東京発着も対象に

10月 1日 アメリカのトランプ大統領が新型コロナウイルスに感染

10月 12日 ヨーロッパで感染急拡大

10月 14日 フランスが3か月ぶりに非常事態を宣言、ヨーロッパで感染再拡大

10月 24日 政府分科会が緊急提言「急速な感染拡大の可能性も」

11月 10日 政府分科会「Go To キャンペーン」見直しなど政府に求める提言

11月 24日 大阪府でコロナ重症者最多に、27日から飲食店の営業時間短縮要請

11月 27日 政府分科会会长、「個人努力だけに頼るステージ過ぎた」

11月 30日 イギリスで新型コロナウイルスのワクチン接種が始まる

12月 8日 アメリカで新型コロナウイルスのワクチン接種が始まる

12月 14日 政府「Go To トラベル」全国一時停止へ、地域限定の対応から方針転換

12月 27日 病床ひっ迫、7都道府県で「ステージ4」の指標超える

1月 31日 東京都で1337人の感染確認、全国で4520人の感染確認、ともに過去最多

1月 7日 1都3県に緊急事態宣言発令
緊急事態宣言受け東京都「緊急事態措置」を決定

1月 13日 7府県にも緊急事態宣言、合わせて11都府県に

1月 23日 新型コロナウイルスの死者、全国で5000人を超える

2月 27日 世界の感染者1億人を超える

3月 27日 新型コロナウイルス感染症に関する事項は、主としてNHK特設サイト「新型コロナウイルス時系列ニュース」を参照しました。

※役職・肩書きは当時のものです。



1月 23日 生活工房の開館時間を20時までに短縮、利用定員を50%以内に制限し、セミナー、ワークショップは18～22時の利用枠を停止

1月 9日 「生活工房バッカード展」開催(～2月21日)、あわせて生活工房ギャラリーを一部リニューアル

1月 1日 「生活工房バッカード展」開催(～2月21日)、あわせて生活工房ギャラリーを一部リニューアル

特集 生活工房の生活調査 2020－2021

2020年。新型コロナウイルス感染症の拡大によって私たちの生活は大きく変わりました。生活工房も3月31日から6月15日まで休館し、予定していた展覧会やワークショップの開催が中止や延期になりました。

マスクの着用や手の消毒をはじめ、「三密（密集、密接、密閉）」や「ソーシャルディスタンス」といった言葉に象徴されるように、感染防止のために新しい生活のあり方が推奨されるようになりました。仕事はテレワークで、イベントはオンラインで、レジに並ぶ列は間隔を空けて……。コロナ禍におけるこうした変化に私たちは少しずつ慣れてきたように思います。そして、出かけられない、会えないといった行動の制限がもどかしく思われる一方、新たなライフスタイルで日々を送る中で、これまでにはない気づきや発見がなかったでしょうか？

今年度のアニュアルレポートの特集では、生活工房にゆかりのある方々に2020年の生活に関するアンケートを実施し、20代から80代まで、さまざまな職業、地域の方から回答を寄せて頂きました。コロナ禍における生活の変化からオンラインでのあれこれ、そして今後の生活についてまで、アンケートに回答頂いた方々がコロナ禍で行ったこと、感じたことをご紹介します。



マスクコミュニケーション

生活工房の生活調査

2020-2021

*アンケート形式で2020年12月～2021年1月に実施

13

12

木戸留五

いたさか・るい 建築デザイナー
1993年生まれ、東京都在住。2020年、「世田谷クロニクル」展の会場設計を担当。2021年、生活工房ギャラリーのブチリニューアルに際し、デザイン・設計を手掛ける。（→p.40参照）

自宅でリモートワークをしましたか？
元々週1→週3程度に

オンライン○○、しましたか？
レクチャー（する側・聞く側）、ワークショップ、講義、ボードゲーム、同窓会、お正月（祖父母と）

最近いちばんおいしかった「おうちごはん」を教えてください
じゃがいものポタージュ!!

有料配信で映像コンテンツを観ましたか？
• ceroや中村佳穂のライブ
• シアターコクーンの「プレイタイム」
• 友人のオンラインレクチャーなど

映画館や美術館などで観たものはありますか？
映画『パラサイト 半地下の家族』、『TENET テネット』、『劇場』
展覧会「ピーター・ドиг展」（東京国立近代美術館）、
「オラファー・エリアソン ときに川は橋となる」（東京都現代美術館）

最近買ったお気に入りのものを見せてください
本棚（材料を買って組み立てた）
コロナの影響で家とアトリエと一緒にしたことで本が倍になって困っていたので、総覧できるようになってハッピーに。

散歩の時間が増え、近所にあたらしい発見がありましたか？
近所の公園が意外と広かった!!
入り口が沢山あるので、たまに違う出入口をつかったりした。

マスクを手作りするとしたら、どんなマスクをつくりたいですか？

コロナ禍を経て、未来の（個人的な）生活はどう変わると思いますか？
• 徒歩圏内の環境づくり（さがし）が大事になりそう。
• 品ぞろえが良く楽しいスーパー
• 商店街があること
• ゆっくりできるカフェがあること
• テキトーなカフェもあること
• 友だちが1人は住んでいることなど
• 仕事のやり方はあまり変わらないと思うけど、扱う内容は変わっていく（混ざっていくような）気がします。
• 家であり、仕事場である
• 集会所であり、配信スタジオでもあるなど
その時に、ユニバーサルではなく拠りどころとなる存在のことを大事に考えたい。
(例えばキッチンとか、作業テーブルだと……)

山あり、谷あり、
それでも生活は続いていく

いけだ・まさのり 株式会社ゆかい主宰、写真家
池田晶紀

自宅でリモートワークをしましたか？
今もだいたいそうです（撮影のない日は）。

オンライン○○、しましたか？
Zoomでミーティング
Zoomでトーク（毎日）→朝4時から午後12時まで
meetで大学の授業

おうち時間が増え、なにかあたらしい趣味はできましたか？
家（ベランダ）にサウナをつくったので、毎日はいれます。

最近いちばんおいしかった「おうちごはん」を教えてください
テイクアウトと家でつくるものの組み合せがあたらしく感じました。

散歩の時間が増え、近所にあたらしい発見がありましたか？
子どもと公園にいくたのしさは、小さな発見の連続でした。

最近買ったお気に入りのものを見せてください
NIPLUX NECK RELAX けっこういいですよ。首のつかれがとれます。

コロナ禍を経て、未来の（個人的な）生活はどう変わると思いますか？
出来ることをやる。
出来ることを毎日コツコツやる。
出来ることを書き出す。
出来なかったことが、出来ることを続けると出来ようになる。



おかだ ゆか

おかだ・ゆか 日常探検家

1991年生まれ、東京都在住。日常の中にひそむ不思議を探検する「日常探検 LABO」のメンバーとして、2018年より夏の子どもワークショップを行う。(→ p.46 参照)

有料配信で映像コンテンツを観ましたか?

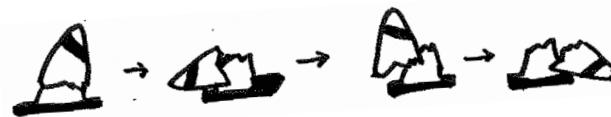
② ハライチライブ「けもの道」

③ オンラインフィットネス

④ SAKANAQUARIUM光ONLINE

散歩の時間が増え、近所にあたらしい発見がありましたか?

近所のカラーコーンが毎日変化していることに気がつきました。



最近買ったお気に入りのものを見せてください

木材を買って、本棚を作ってもらいました。



コロナ禍を経て、未来の(個人的な)生活はどう変わると思いますか?

「毎日の生活を大事に過ごしていきたい」という気持ちが強くなってきました。オンラインでも人と繋がれるので、物事への接続の仕方が大きく変化してきていると思います。これからは、無理には繋がりすぎず、当たり前にある“日常を探検する心”をもって、こんな楽しみ方もあるよと広めていきたいです。そして、日常を探検し続ける仲間を探して、身の回りにある生活を楽しみ続けるのかな・・・。

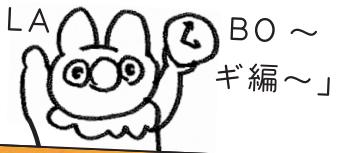
最近いちばんおいしかった
「おうちごはん」を教えてください

和風ハンバーグ



オンライン〇〇、しましたか?

夏の子ども“テレ”ワークショップ
「日常探検 LABO ~ 時間のフシギ編～」



おうち時間が増え、なにかあたらしい趣味はできましたか?

名のある料理を作るようになりました。俳句も。



なにかあたらしい人間関係は生まれましたか?

しばらく連絡をとっていなかった長崎にいる大学時代の友達と時々ビデオ通話するようになりました。

映画館や美術館などで観たものはありますか?

- 江之浦測候所
- 東京タワー
- 映画『建築と時間と妹島和世』ホンマタカシ
- unpis×大津萌乃「DANCE」(Creative Lounge MOV)
- 「作品のない展示室」(世田谷美術館)
- JUN OSON「D_I_S_T_A_N_C_E」(DIESEL ART GALLERY)
- 田渕正敏「Choice」(ガーディアン・ガーデン)
- 高田唯「Neighbor “X”」(Fluss)

散歩の時間が増え、近所にあたらしい発見がありましたか？

近道を知りました。そして東京は自然が多い。
久しぶりに甲州街道で2匹のタヌキをみました。
足が速かったです。



TANUKI

マスクを手作りしましたか？ どんな柄ですか？



最近買ったお気に入りのものを見せてください

フードスチーマー

かぼちゃが本当に美味しいです。



コロナ禍を経て、未来の（個人的な）生活はどう変わったと思いますか？

「不安」へのストレスを、コロナ禍を通してたくさんの人々が感じました。コロナを気にしないことでストレス回避をしたり、逆に執着することで安心している!?化の人も見ました。長期化する危機は分断を生みます。まずは仲直りというか……おつかれさま会をアフターコロナで各自各所やる事からかなあと思いました……。

0か100じゃなくてみんなでいたわって笑えるような展示（またはイベント）をいつかしたいですね。それぞれの失敗を許せる生活がいいです。

椎木 彩子

自宅でリモートワークをしましたか？

2020年4月～11月
ほぼ毎日です。元々在宅なので……。



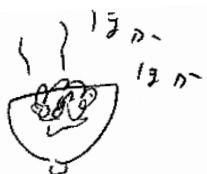
オンライン○○、しましたか？

Zoom、Google meetで会議をしました!!
あまりオンライン飲みはしませんでした。
慣れましたが対面がキンチョーします。



最近いちばんおいしかった
「おうちごはん」を教えてください

胃がつかれた時に食べた
きのこ雑炊です。



おうち時間が増え、なにかあたらしい趣味はできましたか？

観葉植物を育てています。ゴムの木です。

なにかあたらしい人間関係は生まれましたか？

近所の表現者（同業者）ご家族と仲良くなりました。
みかんを渡し合ったりしています。 ↪

映画館や美術館などで観たものはありますか？

なんだかんだでたくさん見ましたが……金沢のまるびいで観た「ダブル・サイレンス」（ミヒヤエル・ボレマンスとマーク・マンダース）の展示が心にのこりました。やっぱり画像では無理な部分、リアルの良さ。

しいき・さいこ 美術家、「あの海は山のよう」主宰
1983年生まれ、東京都在住。第6回世田谷区
芸術アワード“飛翔”において、生活デザイン
部門受賞。2020年、受賞作品展「未来に伝え
るせたがや今なし」を開催。（→36頁参照）

コロナ禍を経て、未来の（個人的な）生活はどう変わると思いますか？

僕もみんなも、「本当のこと」がより大切になってゆくと思います。
「本当に必要な〇〇〇」など。
そんなに必要を感じない物や事はテキトーになり、「本当」はとても大切に求められ大切にされる。
服を作っている僕はその「本当」の服を作りたいです。

なにかあたらしい人間関係は生まれましたか？

先ほどの「ウチノTシャツ」では、直接会ったことのないお客様と対面し、最近の気分などをインタビューするワケです。
かなり深い心境にせまったお話をるので、初対面なのに心を通わせることができました。不思議な気分でした。

Re: 正吉

とびた・まさひろ
ファッショントレーナー、spoken words project 主宰
1968年生まれ、東京都在住。講師を務める「14歳のワンピース」は、今年度、10年目を迎えた。
(→ p.46参照)

オンライン〇〇、しましたか？

Zoomでお客様と直接対面し、インタビューをして、その場でそのお客様のイメージをTシャツにデザイン&プリントといった企画を行いました。約50人の方々のデザインをしました。企画名は「ウチノTシャツ」です。



映画館や美術館などで観たものはありますか？

tupera tupera「かおてん」(PLAY!MUSEUM)
ミロコマチコ「いきものたちはわたしのかがみ」(宇都宮美術館)
「Uninterrupted Wander - 不断の彷徨」(ミヅマアートギャラリー)
「おさなごころを、きみに」(東京都現代美術館)
映画『クリスト ウォーキング・オン・ウォーター』

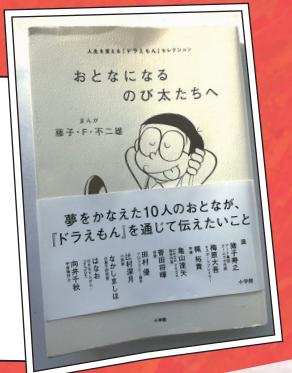
散歩の時間が増え、近所にあたらしい発見がありましたか？

道で、思った以上に知り合いに会った。
「ハ～イ。」とあいさつするのが良かった。

最近買ったお気に入りのものを見せてください

『おとなになるのび太たちへ』

実際は自分個人での購入ではないのですが、だからこそ思いがけず良かったです。
「ドラえもん」を違う眼差しで読みました。
回し読みして本がいたんでいまーす。



映画館や美術館などで観たものはありますか？

- 映画館で『ドラえもん』と『鬼滅の刃』を観ました。
- 娘が美術教室で国立科学博物館に行き、動物はくせいスケッチをしました。
- 吉祥寺図書館と市民活動支援コーナーに行きました。

散歩の時間が増え、近所にあたらしい発見がありましたか？

- お米屋さんのおむすび
普段歩いたことがない道でお米屋さんを見つけ、そのお店のこだわり（大きさ、炊き加減、具材まで拘っている）おむすびに出会いました。
- 静かに行列が出来ている小さいお菓子屋さん
身体に優しいクッキー、マフィンなどを買うことができて幅広い年齢層の方々が並んでいました。
- 予約が取れないと聞いていた歯医者さん
予約3か月待ちと聞いていた歯医者さんです。コロナのおかげで予約がとれました。
- テイクアウトで入ったお店の店主
ジムで見かける時は強面な雰囲気ですがお店で会った時はとても優しい方でした。テイクアウトを推奨されてもプラスチック容器を売っているお店も緊急事態宣言で閉まっていて容器を探すのが大変だったと仰っていました。
- 井の頭公園～三鷹駅近くのパン屋さん
こちらもこだわりのコーヒーを淹れてくださって、ラテアートもお上手です。コーヒーの香りを楽しむためにカップの蓋の閉め方まで教えてくれました。

最近買ったお気に入りのものを見せてください

- 空想街雑貨店さんで買ったスマホケース
- 井の頭公園近くで買った御朱印帳
天空の城ラピュタのような世界観が広がっていて、一瞬で心を持っていかれた（惹かれた）。
御朱印帳のデザインも一目ぼれ～です。



コロナ禍を経て、未来の（個人的な）生活はどう変わると思いますか？

何か急激に変わるということはないかな～と思います。
まずは私自身、自分スタイルの“こころ豊かに生きる”を表現し、自分らしく生きていくために感性を磨き続けていくことが、私にとっては何よりも重要なことだと思っています(^^)。そんな私を見て、子供たち、家族、周囲の人たちが「人っていいね、面白いね、楽しいね」なんて思ってもらえたらいいですね。

コロナの流行で、無駄と思うところに実は豊かさもあるということが分かりました。
そこからの気づきや取り組みが日本の良さを蘇生していく、そんな変化が起きると思います。

テレビ、インターネット、SNSから溢れている様々な情報。“個人情報取扱注意”という言葉の意味は違いますが、流れてきた情報を個人（自分）がどのように取り扱うのか、取り扱いに本当に注意が必要だと感じました。なんだか疲れているな～と思ったら、実は情報に取り憑かれていたことに気付き、テレビよりもラジオ（視覚から聴覚）の時間を増やしました(笑)。

体調が良くない時は“休んでいいよ、休んでも大丈夫だよ”という空気が強制的に流れたことは良かったのでは？と思います。長く続けていくために休むことも大事ですね。



ちば・ちはる NPO法人国際ボランティア学生協会 (IVUSA)

千葉 千春

東京都在住。大学生が開発途上国支援や災害救援活動を行うNPO法人IVUSA職員。「市民活動支援コーナー」の運営を担う。(→p.52参照)



自宅でリモートワークをしましたか？

4月から現在も週の半分はリモートワークしています。
(必要な金融機関が揃っているおかげでリモートワークが出来ています)

オンライン○○、しましたか？

- (学校関係) 保護者会 担任の先生との面談 オンライン授業
- (学童関係) 保護者会 学童協力委員会
- (職場) 会議 ディナー会
- (家庭) 親類顔合わせ オンライン飲み会

最近いちばんおいしかった「おうちごはん」を教えてください

鶏手羽の甘酢煮です。

コロナ流行前に出産し、下の子がまだ小さいので外食が減っています。
味噌屋さんで絶品味噌に出逢い、味噌汁を作ろうという気持ちになりました。
毎日の味噌汁がごちそうになるように工夫して作っています。
(素材が良いので、いつも美味しく仕上がります)

おうち時間が増え、なにかあたらしい趣味はできましたか？

新しい趣味は出来ませんが、家でまとまった時間がつくれるようになったことで、今持っている趣味を深めることができます。(喫茶店で過ごす時間／アロマテラピー／薬膳／心理学／手紙／小物雑貨／沖縄三線)

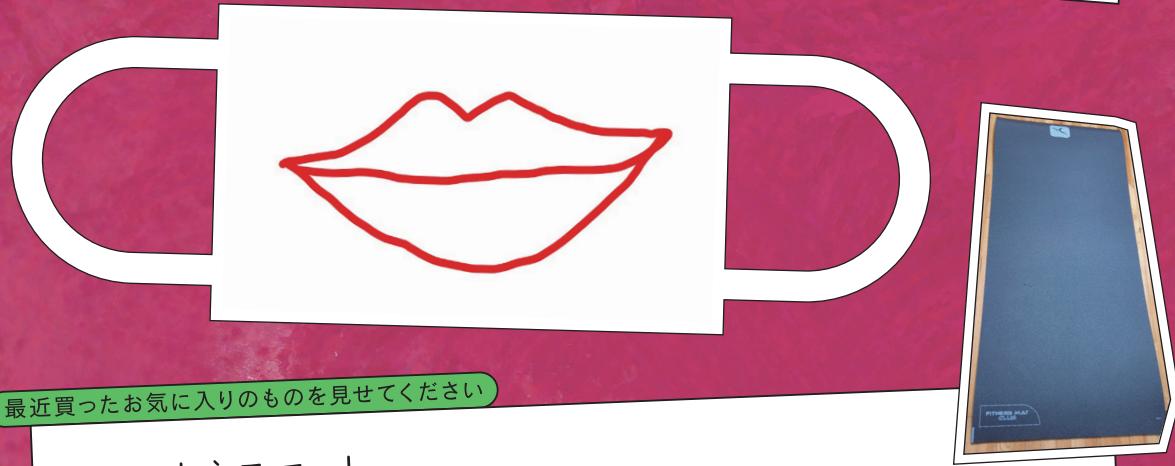
なにかあたらしい
人間関係は生まれましたか？

テレワーク、ステイホーム、テイクアウトの広がりで、逆に人に会うようになりました。
同じマンションに住んでいる人、飲食店の店員さん、地域の住民など、どこにどんな人がいて何をされているのかが分かり、挨拶を交わす程度ですがお互いに顔が見えるようになったと感じます。

散歩の時間が増え、近所にあたらしい発見がありましたか？

マスクを手作りするとなったら、どんなマスクをつくりたいですか？

極力自粛していることと、週末は24時間外出禁止、平日も21時以降は外出禁止の措置がとられているため、家を出ることがほとんどありません。



最近買ったお気に入りのものを見せてください

フィットネスマット

この期間、食料品以外のお買い物は全くしていませんが、唯一購入したものがコレ。外出できない分、家族でお家でトレーニングしています。

コロナ禍を経て、未来の（個人的な）生活はどう変わると思いますか？

行動が制限されて不便さを感じていますが、逆に言えばなくとも支障のないものや無駄だったこともわかった気がします。手続きの多くは対面や待ち時間を要することなく、ネットで済んでしまいますので時間の無駄がなくなりました。時間の節約が自然とできます。お家で過ごす時間が増えたことで、家族と過ごす時間も増え、一緒にご飯を作ったり、食べたりすることも増えました。改めて自分の居場所を確認できました。家族を大切にしていこうという気持ちが強まりました。今まで安い出来ていた国外への渡航は費用面や手続き面で難しくなると思います。いつでも出来ると思っていたことがそうではないことにも気づかされましたので、いつか、そのうちではなく出来る機会があった時に出来ることをしようと思います。そんな中でも本当に大切な人たちとの関係や交流は変わらないと思います。実際に会えなくても連絡方法はありますし、この状況に応じた社会システムが作られていくのだと思います。でも終息した時に自由に動けること、自由に人と会えること、それら全てに感謝することになると思います。ただ未来の子供たちへの不安はあります。この世界を生き抜いていける力や知恵を持てるように子供たちを育てていかなければならぬなと思います。

自宅でリモートワークをしましたか？

トルコでは2020年4月以降は営業期間、時間帯の制限、外出禁止措置などがあり、現在まで約10か月間フルリモートワークです。

オンライン〇〇、しましたか？

日本の友人たちとトルコの手工芸に関する勉強会、セミナー、忘年会、新年会など。

最近いちばんおいしかった「おうちごはん」を教えてください

普段仕事でご飯を作る時間がありませんでしたが、この期間は今までできなかった時間のかかるものが作れました。最近は大量の餃子を作りました。

おうち時間が増え、なにかあたらしい趣味はできましたか？

過去の動画などを利用して、動画（YouTube）制作をして発信しています。

なにかあたらしい人間関係は生まれましたか？

リアルな人との対面はほとんどなくなりましたが、SNSなどを通じて趣味や仕事の話をしたり、Zoomで、今までSNS上でしか接したことのない人とお顔を見てお話をする機会が増えました。コロナ以前よりも、遠く離れていたながら距離を感じることなく日本各地の人たちとの交流が増えました。

有料配信で映像コンテンツを観ましたか？

無料で楽しめるものがあるので利用していません。

映画館や美術館などで観たものはありますか？

映画館は閉館中なので利用ができません。

1963年生まれ、トルコ在住。1992年よりトルコに暮らし、地中海沿いのアンタルヤで伝統手工芸の店を営む。2019年、野中氏特別協力のもと、「トルコ・トカットの木版〈バス〉展」を開催。

野 中 義 美

のなか・いくみ ミフリ代表



オンライン〇〇、しましたか？

オンライン生配信シリーズ「Through The Window」を立ち上げて4回配信。
元ラグビー日本代表の勝野大さんのオンライン筋トレ。
大学時代のお友達の宮國淳さん（尚徳館）の空手レッスン。
肉体に戻った一年。

おうち時間が増え、なにかあたらしい趣味はできましたか？

- ・プロジェクターで天井シネマ
- ・筋トレ@ベランダ

最近いちばんおいしかった
「おうちごはん」を教えてください

お正月のお雑煮

なにかあたらしい人間関係は生まれましたか？

映画監督、音楽家、サウンドエンジニア、写真家の仲間と、クリエイティブな配信活動を開始。新作のPV制作チーム結成。徳島の聖域にロケハン。ヤバイ！！

散歩の時間が増え、近所にあたらしい発見がありましたか？

近所にキリストian墓発見。
安土桃山時代このあたりがキリストian町だったと知ってびっくり。

最近買ったお気に入りのものを見せてください

マスク

徳島の海陽町にある in between blues で藍染めしたマスク。
天然藍で手も染まって心も藍に包まれた。歌にも出会えそう。



コロナ禍を経て、未来の（個人的な）生活はどう変わると思いますか？

オンラインが主流になるなか、じかに話し、触れ合い歌い、笑いあえる人間らしい行為がさらに大切になっていくと思うし、私は本当の“CONTACT（触れ合い）”を忘れないで歌い続けたい。世界中に旅できない今、一つ一つの体験を宝物にして、また大好きな人たちと抱擁しあえる時を楽しみに待ちながら。自分は基本的にあんまり変わらないかも？本当に大切なessentialなことしかやりたくない。

まきの・けいこ 世田谷おはなしネットワーク代表

東京都在住。世田谷で活動するおはなしの会が集まり結成された「世田谷おはなしネットワーク」代表。2001年から毎年、生活工房においておはなし会と講演会を開催。（→p.48参照）

牧野 桂子

おうち時間が増え、なにかあたらしい趣味はできましたか？

散歩、映画

オンライン〇〇、しましたか？

講演会視聴

散歩の時間が増え、近所にあたらしい発見がありましたか？

- ・夕焼けの変化が楽しい
- ・子供の遊び方
- ・おとし物の発見
- ・お店の貼り紙の書き方
- ・門松のたて方

最近買ったお気に入りのものを見せてください

本 古本屋さんが年末にかけて数店無くなりました。
その時セールをしてましたので数冊買いました。



コロナ禍を経て、未来の（個人的な）生活はどう変わると思いますか？

マニュアル化された生活が多くなり、
自由に考えたり、話をする事が少なくなる。

まつだ・みお 歌手

松田 美緒

1979年生まれ、京都府在住。土地に息づく音楽のルーツを身体で吸収し表現する“うたう旅人”。2017年、同氏の取り組みを紹介する展覧会「クレオール・ニッポンの旅」を開催。



自宅でリモートワークをしましたか？

NHK札幌「おうちでごちそう北海道」のために
自宅で月1回録音。
ウルグアイのアーティスト、ウーゴ・ファトルーソと、
10年ぶりに全曲スペイン語のアルバムを制作中。



まつもと・あつし NPO 法人記録と表現とメディアのための組織（remo）メンバー

自宅でリモートワークをしましたか？

ほぼ毎日

オンライン○○、しましたか？

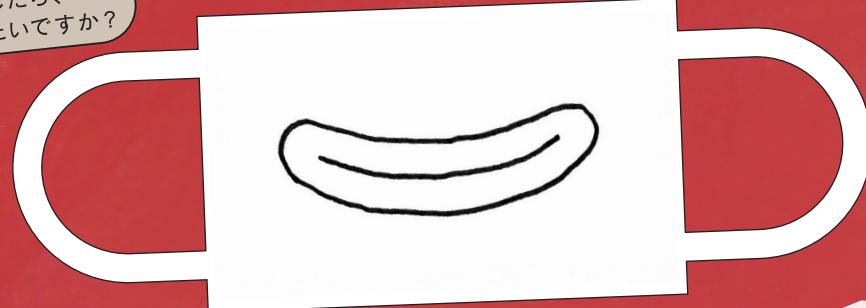
展覧会の打ち合わせや、
書籍づくりの打ち合わせなど。

松本 篤

1981年生まれ、大阪府在住。2015年にスタートした「穴アーカイブ」の中心人物の一人。2020年、その取り組みを展覧会へと発展させた「世田谷クロニクル1936-83」を企画。（→ p.51参照）

マスクを手作りするとしたら、
どんなマスクをつくりたいですか？

オバケをイメージしました。
あまり意味ないです。



コロナ禍を経て、未来の（個人的な）生活はどう変わると思いますか？

時間がかかるもの、時間をかけるものの価値が高まっていくのではないかと思います。
子どもの頃、誰かに手紙を書く時は、文章を書くまでにすごく時間がかかっていた気がします。大人になると、eメールがほとんどになりました。メールを発信した途端に、相手に届いている（読まれている）という錯覚が生まれました（すごい間違いですね）。
近頃はまた手紙を書くことが多くなっています。宛先に届くまで、返事が届くまでの時間がとても楽しくなっています。

最近いちばんおいしかった
「おうちごはん」を教えてください

かれいの煮つけ、鶏卵うどん、ナポリタン、タンドリーチキン

散歩の時間が増え、近所にあたらしい発見がありましたか？

家の近くのネコのなわばりや相関図（ライバルや兄弟姉妹、親子）、出没する時間帯、なき声の特徴、毛の模様の違い。

最近買ったお気に入りのものを見せてください

ほうろうのポット

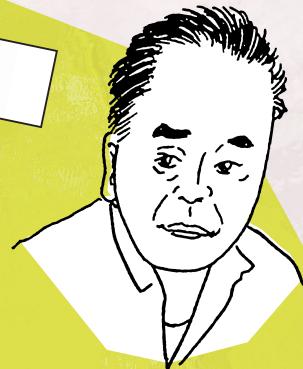
実は10年前に買っていたんですが、最近まで電気ケトルのほうが便利だったのでしばらく使っていませんでした。電気ケトルが壊れてしまい、またポットを使うようになりました。お湯が沸くまでの時間が、気分転換になっています。



やまがた・とむ 画家

1934年生まれ、北海道在住。2019年に開催した「新雪の時代—江別市世田谷の暮らしと文化」展出品作家。現在も「農民画家」として制作を続けている。

山形トム



マスクを手作りするとしたら、
どんなマスクをつくりたいですか？

ハチミツ入り
おしるこ
すきやき

なにかあたらしい
人間関係は生まれ
ましたか？

デイサービスで、
にがお絵をかいて、
皆様によろこばれて
います。



コロナ禍を経て、未来の（個人的な）生活はどう変わると思いますか？

自分自身は、手洗い、アルコール消毒を実行してゆく事が、日常となるでしょう。今年は、地元の野幌公民館にて、油絵の個展を開催する予定であります。皆様に安全で喜んで頂ける展示会にしたいと考えて、作品の制作にも精を出して居ります。



わたなべ・けいすけ NPO法人ブレーバークせたがや

渡辺圭祐

自宅でリモートワークをしましたか？

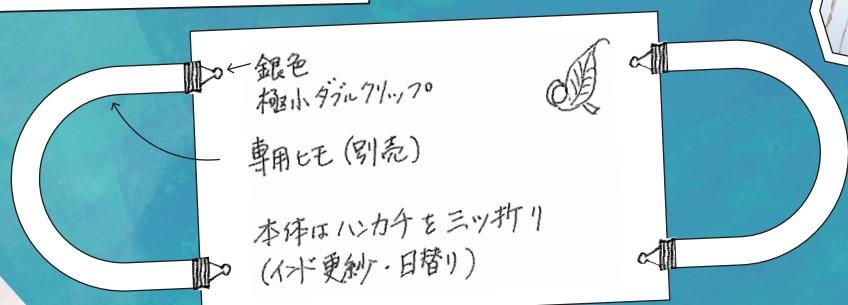
2020年4～5月、週5日のうち3日程度。その後も週1日は自宅。

オンライン〇〇、しましたか？

団体内部の会議、法人の総会 (Zoom利用)

コロナ禍を経て、未来の（個人的な）生活はどう変わると思いますか？

少なくとも2021年は対面取材や地方調査が減りそうなので、文献調査や個人資料の分析を重点的に。それを基にしてアウトプットを増やしたい。また、一日の「時間」のコントロールも強く意識するようになると思う。



最近買ったお気に入りのものを見せてください

手作りしめかざりキット

(通販)

しめかざりを自作したいけど、ワラの入手も作り方もわからないという人におススメです。脱穀後の美しいワラ、詳細な解説書、丁寧な梱包。

マスクを手作りしましたか？ どんな柄ですか？



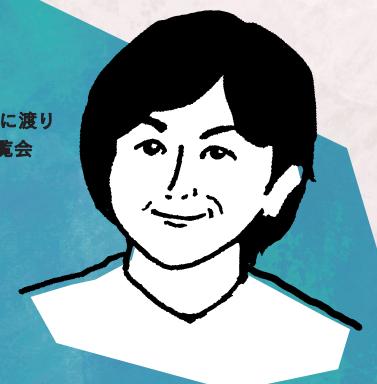
森須磨子

もり・すまこ グラフィックデザイナー

1970年生まれ、東京都在住。デザインの仕事の一方、20年に渡りしめかざりの収集・研究を続け、2020年、自ら企画制作した展覧会「渦巻く智恵 未来の民具しめかざり」を開催。（→ p.38 参照）

オンライン〇〇、しましたか？

映像編集の打ち合わせ。



最近いちばんおいしかった「おうちごはん」を教えてください

「なめたけ」を自作したら美味しく炊けました。

なにかあたらしい
人間関係は生まれましたか？

普段はあまり会わない近所の勤めの方々が平日に散歩しているところに遭遇し、立ち話など。

映画館や美術館などで観たものはありますか？

映画『パブリック図書館の奇跡』

散歩の時間が増え、近所にあたらしい発見がありましたか？

子供たちの屋外遊びが昔と変わらない……
かけっことか、新聞紙丸めてチャンバラとか。

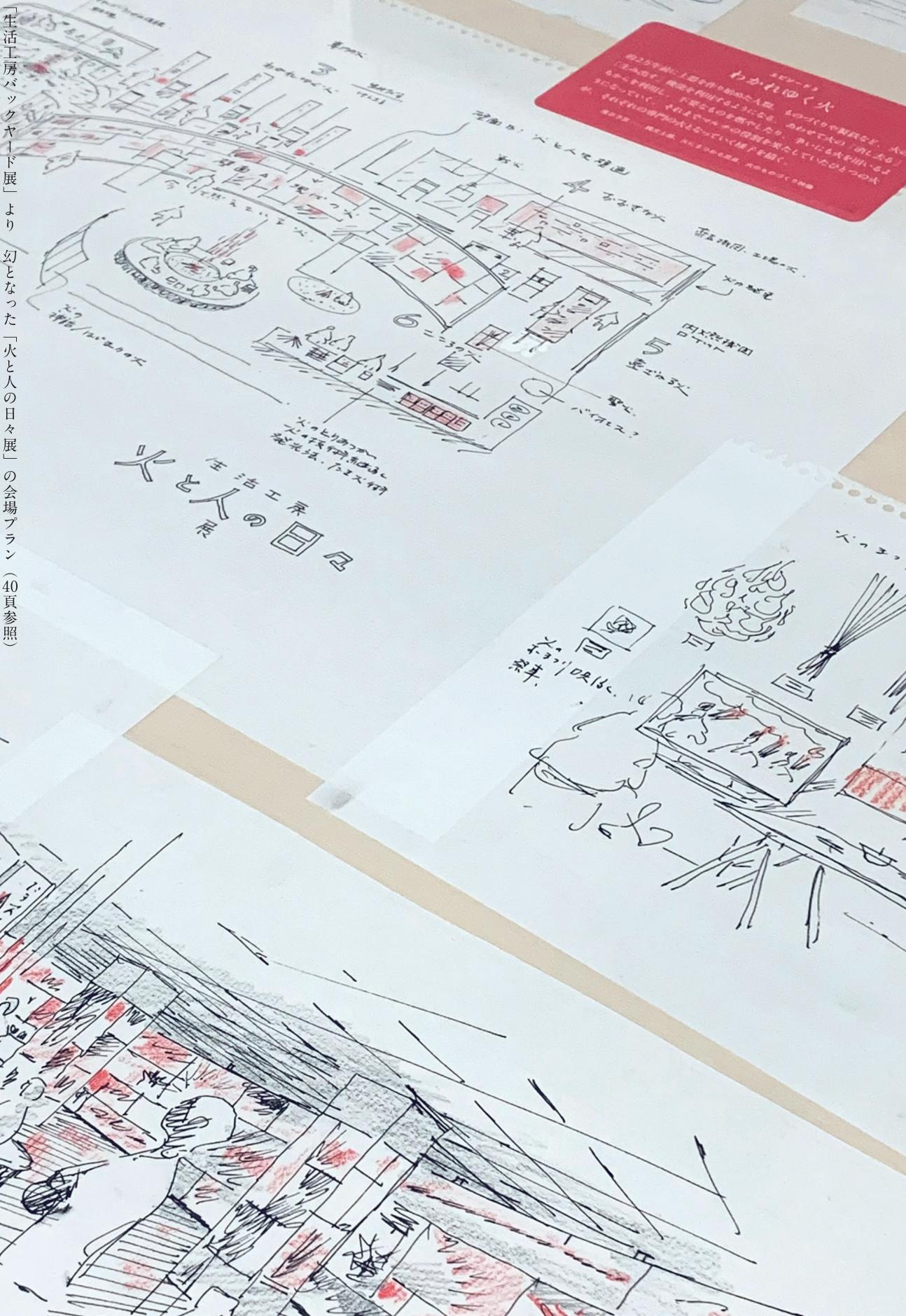
コロナ禍を経て、未来の（個人的な）生活はどう変わると思いますか？

リモートワークという選択肢も増え、仕事の効率化は進むと思います。それにより時間に余裕が増え、家族で過ごす時間は多くできると思います。ただ、いわゆる「密」について思うのは、人間関係はリモートでは限界があり、特に子どもの成長にとって「密」はむしろ必要だということです。今は遠距離の移動もしにくくリアルな体験も不足しがちですが、今の時期を人ととの「密」や、実体験の価値を見直す転換期としてとらえたいです。





Exhibition 展览会



生活工房アーカイブ展

パート1 「日常を見限らない」
 パート2 「哲学対話 PARA SHIF」
 パート3 「ポスターでたどる生活工房ヒストリー 1997—2020」

再開後、最初の展示はアーカイブを活用

新型コロナウイルス感染症の影響により当初予定していた企画が延期・中止となつたことをうけ、急遽準備した展覧会。普段は展示で取り上げる機会の少ない「アーカイブ」に着目し、会期を3つに分けて編成した。

パート1 「日常を見限らない」とパート2 「哲学対話 PARA SHIF」では、各企画のドキュメントムービーを中心として、事業の内容や成果を広く紹介した。映像はYouTubeでも公開している

が、来館者が偶然目にしている

味をもつきつかけとなる点

で、リアル空間での上映展示

の意義は大きい。

パート3 「ポスターでたどる

生活工房ヒストリー 1997—

2020」は、生活工房という施設の多面性やその23年の歴史を、ポスターを通じて紹介した。

パート1 「日常を見限らない」とパート2 「哲学対話 PARA SHIF」では、各企画のドキュメントムービーを中心として、事業の内容や成果を広く紹介した。映像はYouTubeでも公開している

が、来館者が偶然目にしている

感染症対策の観点からギャラリー内のベンチは撤去し、

滞留時間の抑制、三密回避対策を講じたが、多くの区民が短時間ながら足をとめて鑑賞していた。

YouTubeでも公開している

が、来館者が偶然目にしている

感染症対策の観点からギャラリー内のベンチは撤去し、

滞留時間の抑制、三密回避対策を講じたが、多くの区民が短時間ながら足をとめて鑑賞していた。

34

展覧会 Exhibition

35

Exhibition 展覧会

世田谷アートフリマ つながり展2020

身近な動物からひろがるアートの世界

「世田谷アートフリマ」は、手づくりの雑貨・イラスト・写真など、オリジナルの作品づくりを楽しむ市民の発表・販売の場として人気のイベント。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催が見送られることとなりました。

本展では、「世田谷アートフリマ」とゆかりのある作家たち7名が「猫」をテーマにしたアート作品を発表しました。写真・切り絵・イラスト・シルクスクリーンなど様々な技法で表現された猫た

ちに、微笑む来場者も多かった。9月19・20日には、2003年にはじまつた「世田谷アートフリマ」の歴史を振り返る小展示「豆本作り」とシルクスクリーンプリントのワークショップ、「せたがやじん」のキャラクターグッズ販売も行つた。

出展作家

ASUHA -明日葉-(写真)

高木亮(きりえ)

Rin Nagashima(イラスト・立体)

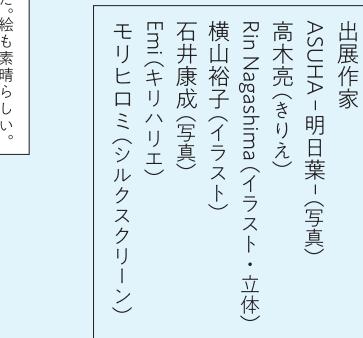
横山裕子(イラスト)

石井康成(写真)

Fumi(キリハリエ)

Mori Hiroshi(シルクスクリーン)

40代男性の声 ● 言葉で表せないくらい感動した。絵も素晴らしい。



DATA

開催日時 → 2020年9月12日(土)～10月11日(日)
 9:00～21:00(祝日のぞく月曜休み)

会場 → 生活工房ギャラリー

来場人数 → 2,142名

企画制作 → 世田谷アートフリマプロジェクト

協力 → 世田谷233

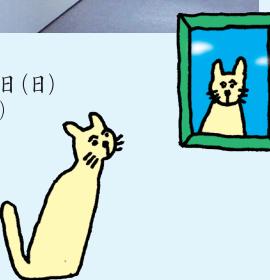
【ワークショップ】

開催日時 → 9月19日(土)、20日(日)

会場 → 市民活動支援コーナー

参加人数 → 50名

参加費 → 100～500円(ワークショップにより異なる)



DATA

開催日時 → パート1: 2020年6月17日(水)～7月12日(日)
 パート2: 2020年7月14日(火)～8月16日(日)
 パート3: 2020年8月18日(火)～9月6日(日)
 9:00～21:00(祝日のぞく月曜休み)

会場 → 生活工房ギャラリー

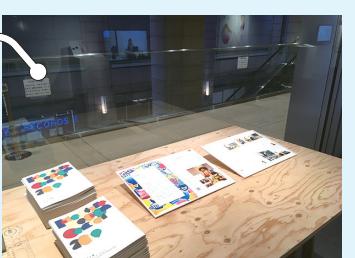
来場人数 → 4,567名

34

展覧会 Exhibition

35

Exhibition 展覧会



第6回世田谷区芸術アワード「飛翔」 生活デザイン部門 受賞作品展

未来に伝えるせたがや今ばなし

2020年の「今ばなし」が、
いつか未来の「昔ばなし」になる

WS参加者が制作した〈お面〉。お面をつけた
参加者6名は、最後のWSでオンライン初対面



公開制作中の椎木氏。ガラスに手書きでイラストを描きこむ



DATA

開催日時 → 2020年10月24日(土)～11月22日(日)
9:00～21:00(月曜休み)

会場 → 生活工房ギャラリー

来場人数 → 2,491名

企画制作 → あの海は山のよう

企画・構成・イラストレーション → 椎木彩子

特設ウェブサイト・映像編集 → 坂本大幸

音響 → 岩見繼吾

ダンス(テレワークショップ講師) → 長谷川宝子

広報物デザイン・会場グラフィック → 浦川彰太

【ギャラリートーク「今の話」】

開催日時 → 11月14日(土)14:00～14:30

講師 → 椎木彩子(「あの海は山のよう」主宰)、浦川彰太(グラフィックデザイナー)

参加人数 → 9名

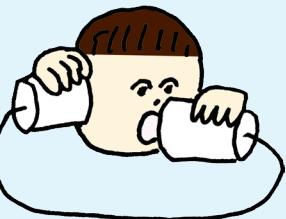
参加費 → 無料

【公開制作】

開催日時 → 10月31日(土)、11月7日(土)、21日(土)
各日10:00～16:00

参加人数 → 249名

参加費 → 無料



(会期終盤の会場風景。公開制作を経てにぎやかに)

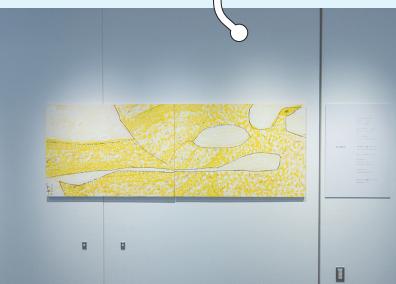


70代女性の声
●パンデミックの中、切実に人はどうしたいかを思わせる試み。

Exhibition 展覧会 37 36 展覧会 Exhibition



民話に登場する黄色い鳥の絵と詩



ガラス面に描かれた、マスクをつけるか悩む鳥の絵

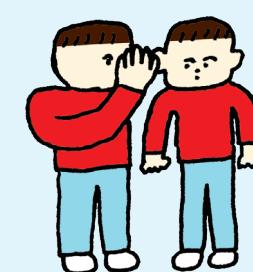


(撮影=アカセユキ)

音楽家やダンサーなど多彩なクリエイターとともに、パフォーマンスを中心とした作品を発表するアートコレクティブ「あの海は山のよう」。主宰者の椎木彩子氏は、言葉を採集して平面作品を中心に制作している若手作家だ。

本展では、「あの海は山のよう」とともに、現代の〈民話〉を紡ぐために約3か月かけて開催したワークショップの成果を発表した。ワークショップは、新型コロナウィルス感染症の影響により、非対面で開催。図らずも特別な1年となつた2020年、その物語の創作は展示会場で公開しながら行われた。

手紙を読み上げるフジオ形式での返信や、言葉ではなく身体で伝えるワークショップをもとに創作した民話には、世田谷区鳥山を舞台にした鳥と手紙が登場する。オンラインではなく手紙という「遅い」手段を用いて、コミュニケーションの在りようを捉えなおした本企画。急激な生活様式の変化の中にあって、ふと立ち止まるような内容となつた。



30代女性の声 ● しめかざりにこんなにも沢山の意味がこもっているとは知らず大変興味深かったです。



DATA

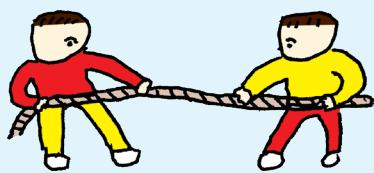
開催日時 → 2020年11月28日(土)～12月27日(日)
10:00～18:00(月曜休み)

会場 → ワークショッフルームAB／生活工房ギャラリー

来場人数 → 9,729名

企画制作 → 森須磨子

映像協力 → 公益財団法人下中記念財団



(各地のしめかざりが並んだ物販コーナー)



輪飾りをどこに付けたいか=1年を振り返って感謝したい物や場所を書いてもらいうコーナー

(撮影=本田犬友)



(戦前の宮城県丸森町の門飾りの再現展示)



新年の福德を授けるというトシガミを迎えるため、日本各地で製作してきた「しめかざり」。その造形は地域によって千差万別。「普通のしめかざり」というものは存在しない。

そんなしめかざりの多様性・地域性に魅せられたグラフィックデザイナーの森須磨子氏は、この20年ほど、「しめかざり探訪」と称して、日本中を訪ね歩いてきた。

本展では、同氏がこれまでにリサーチしてきた様々なしめかざりの中から約100

点を展示し、風土に根差した素材やかたち、そこに込められた先人の智恵を探った。月あかりに照らされた様子をイメージした展示演出手法や、高さ2.5m超の宮城県丸森町の「門飾り」の実物再現、アンケート回答者への「輪輪かざり」プレゼントなど、企画制作である森氏の創案による、来場者を楽しませる工夫が随所に施され、幅広い年代の来場者がしめかざりを身近に感じ、現代の生活に生かすヒントを発見する機会となつた。

なぜここまで多様化したのか

素材やかたち、そこに込められた先人の智恵を探った。



しめかざりの多様性、構造、歴史等を紹介した第1室「しめかざり時空探訪」

渦巻く智恵 しめかざり

未来の民具

生活工房 バックヤード展

40 展覧会 Exhibition

41

Exhibition 展覧会

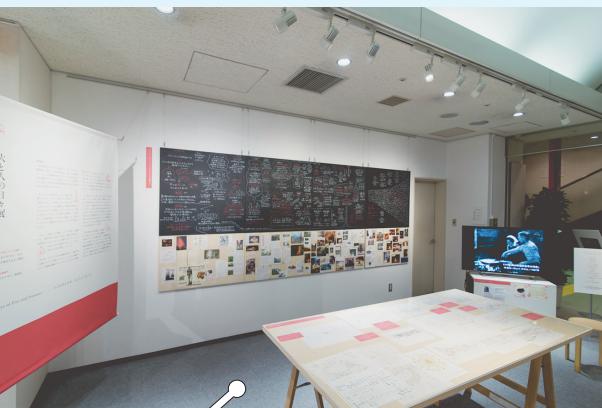
バックヤードから振り返る、 生活工房の歩み

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった展覧会や公演、イベントはどれほどの数に上るのだろう。生活工房も例外ではなく、予定していた展覧会やイベントが中止・延期となり、足元をみつめる一年になった。

本展では、そんな生活工房のバックヤードに眠る約200点のアレやコレを引っ張り出し、これまでの歩みを振り返った。開館前につくられた街歩き本、イベントを記録したVHSテープ、いくつかの展覧会の忘れ物。さらに残念ながら中止になつた2つの企画展「火と人の日々展」と「1964年のホストファミリー展」も紹介した。あわせて、建築家・板坂留五氏(RUI Architects)の設計でギャラリーを一部リニューアル。そのお披露目も行つた。

生活を中心とした文化やデザインについて考へてきた23年。生活という営みの多くが特別な活動ではないことに似て、生活工房のバックヤードにあるのも何気ないモノばかりだ。見過ごしがちな事々物々を振り返りながら、これらの生活を考えるヒントを探つた。

50代性別不明の声● やられたーという感じ。笑



(撮影=アカセユキ)

D A T A	開催日時 → 2021年1月23日(土)～2月21日(日) 9:00～20:00(月曜休み) 会場 → 生活工房ギャラリー 来場人数 → 2,875名 広報物デザイン・会場グラフィック → Tanuki 協力 → 板坂留五(RUI Architects)、といのきデザイン事務所、 公益財団法人下中記念財団 【バックヤード・ツアー！】 開催日時 → 2月7日(日)14:00～14:30、16:00～16:30 会場 → 生活工房3～5F 参加人数 → 17名 参加費 → 無料
----------------	---



大平農園と 畑のレシピ帖展

土の中の出来事と
今日のあなたの食卓

等々力に400年続く大平農園を通して、土と人、農業とのつながりを考える展覧会。大平農園は、昭和20年代に当時珍しいハウス栽培をいち早く導入するなど、篤農家として近代農業を先駆する存在だった。しかし、それゆえに起きた農薬の健康被害、11代目の大平博四氏による無農薬・化学肥料を使わない農業への大転換、生産緑地としての農地存続など、その歴史には、近代の都市農業がたどってきた道が記されている。

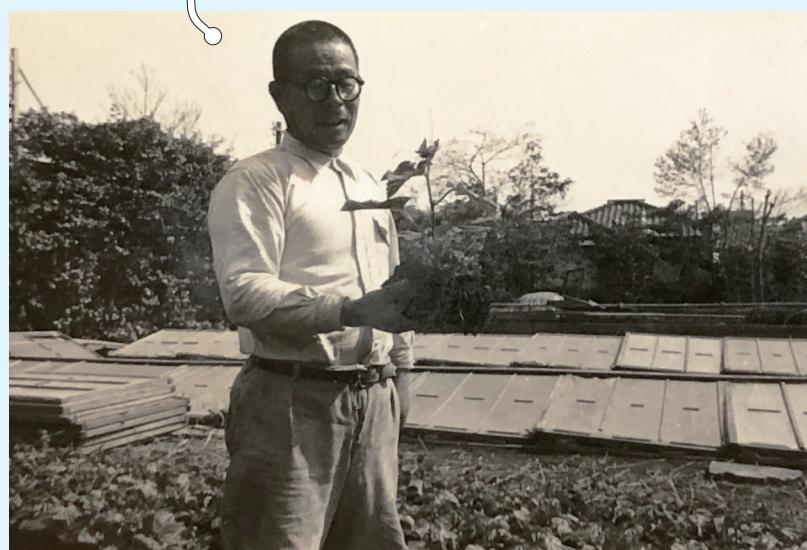
本展では、大平農園や地域の農業の歴史をパネル等で展示し、畑の土壤の微生物・野菜・動物・人間の円環を、イラストレーター・伊藤ハムスター氏の楽しいイラストから学んだ。また大平農園と志をともにする他県の農家、それを支持する消費者からなる「若葉会」から、旬の野菜を長くおいしく楽しむ知恵も紹介。土の中の出来事と毎日の食卓が地続きであることを再認識する機会となつた。



ワークショップ

Workshop

(10代目当主の信彌氏(昭和32年) 所蔵:世田谷区郷土資料館)



開催日時 → 2021年3月2日(火)～6月27日(日) 9:00～21:00(祝日のぞく月曜休み)
※緊急事態宣言期間中は閉室時間を20:00に変更した。

会場 → 生活工房ギャラリー

【ドキュメンタリー上映会】

開催日時 → 4月10日(土)、11日(日) 各日13:30～17:00

会場 → ワークショッフルームB

ゲスト → 森信潤子(映画監督)

参加費 → 無料

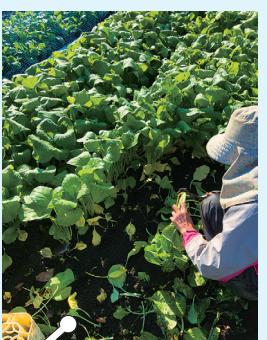
協力 → 大平農園、若葉会、中野詩、後藤逸男(東京農業大学名誉教授)、等々力の歴史を語り継ぐ会、渡辺宏(株式会社ビーハイブジャパン)、久保田裕子、世田谷区農業青壯年連絡協議会



畑の周辺は住宅地に変化した



屋敷のケヤキの落ち葉も堆肥になる



地域に伝わる城南小松菜も栽培している

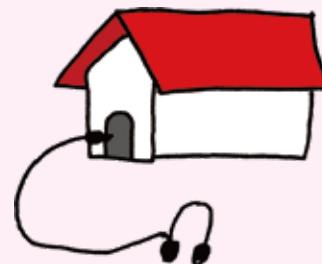
20代女性の声
●家の音を集める中で、思った以上に日々の生き方を見直すきっかけとなつた。



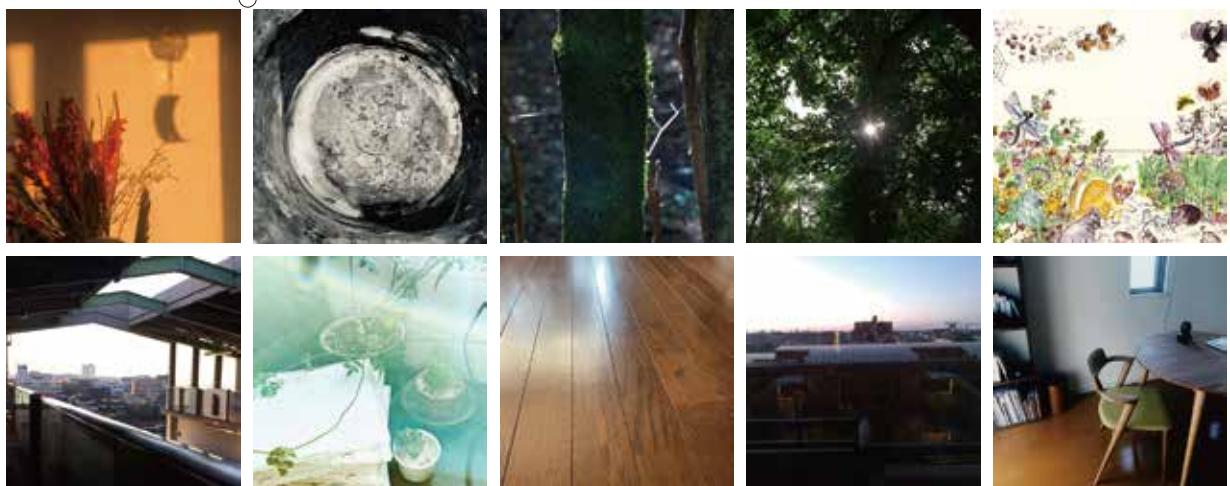
DATA

【TALK「サウンドスケープとの出会い】
開催日時 → 2020年11月1日(日) 11:00～13:00
会場 → ワークショッフルームA
講師 → 鳥越けい子(音風景研究家/サウンドスケープ・デザイナー)
参加人数 → 33名
参加費 → 1,000円

【WORKSHOP「日常の音風景】
開催日時 → 11月1日(日) 15:00～17:00、
11月21日(土) 13:00～17:00 [2日間完結]
会場 → ワークショッフルームB
講師 → 永田壯一郎(作曲家/音楽家)、鳥越けい子[11月1日のみ]
対象 → 高校生以上。録音&写真機能付端末(携帯電話やタブレット等)をお持ちで、
音声&画像ファイルをメールで添付送信ができる方
参加人数 → 10名
参加費 → 2,000円 [2日分]



【WORKSHOP】「日常の音風景」
参加者の音日記アルバム



本企画の記録映像を生活
工房のYouTubeチャン
ネルでご覧ください。

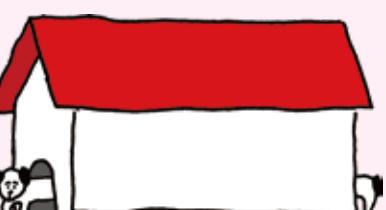


10名の参加者が家の音
を集めて制作した音日記と
講師がそれを素材に作
曲した音楽アルバムを
ホームページで公開中。



【TALK】では、鳥越けい子氏
が、「残したい日本の音風景
100」や自身がサウンドス
ケーブデザインを手掛けた
「瀧廉太郎記念館」など、音
環境を文化として捉えた建
築やまちづくりの事例を紹
介。音風景から暮らしを豊か
にする実践的方法について
解説した。

【WORKSHOP】では、「家」の
中に点在する記憶や感情に
関わる生活の音を収集して
《わたしの日常》を言葉とど
もに綴る音日記を制作した。
最終日は、音日記やそれをも
とに講師の永田壯一郎氏が
作曲した10名分の音楽を発
表。無意識の中に埋もれた
《わたし/あなた/みんなの
日常》をそれぞれの音風景か
ら振り返り・見つめ直す機
会となつた。



日常を見限らない
音風景のワークショップ

家の音風景から日常を見つめ直す

夏の子ども「デレ」ワークショップ 「日常探検LABO（時間のフシギ編）」

今年は特別編！
距離や時間を超えて
つながろう

14歳の心模様を
映し出すワンピース



つかり紙や色でデザインを考える



参加者とオトモダチとみんなで
オンラインレクチャー

46 ワークショップ Workshop

今年の日常探検LABOのテーマは「時間のフシギ」。講師と参加者がインターネットや郵便でコミュニケーションをとりながら行う実験的なワークシップとなつた。はじめにお家で自分の分身人形「オトモダチ」を作り、それが時空を超えた宇宙への旅に出るというストーリーのもとワークショップを行つた。約2か月の間、オンラインで「時間とはなにか？」を学ぶ科学のレクチャーを行うたり、オトモダチが宇宙の星で楽しいパーティーを開いたり、未来の自分への手紙を書いたり……長い旅を終えたオトモダチは無事、みんなの家に帰ることができた。

DATA
開催日時 → 2020年7月～9月
会場 → オンライン上で開催
講師 → 日常探検LABO
(おかだゆか・かなやまこもも・遠山美月・西村隆ノ介・吉田貴寿)
対象 → 小学3年生～中学生
参加人数 → 45名
参加費 → 1,000円



今のはどんな色？どんな形？夢中になっているものやこと、悩み、将来の夢……歌詞や小説の一節など言葉をアイデアの源にして「14歳の心模様」を考え、ファッショングデザインナー・飛田正浩氏とともに洋服生地にデザインした。図案はシルクスクリーンの技法で生地にプリントし、布は専門の工場でワンピースに仕立て、参加者のもとへ届けられた。4月にはワンピースを身にまとつての撮影会も開催予定。写真家・池田晶紀氏と一緒に撮る人・撮られる人の両方を体験しながら、14歳の私を未来の私に届けるために写真に記録する。

DATA
開催日時 → 2021年3月26日(金)～3月28日(日)
10:00～17:00[制作]、
4月25日(日)[撮影会]
会場 → ワークショップルームAB
講師 → 飛田正浩(spooken words project)
対象 → 中学2年生
参加費 → 4,000円
協力 → 池田晶紀(ゆかい)



(撮影会の様子。はじめは緊張するけれどその表情も素敵)



セミナー
地域と市民活動
Seminar / Local Community

セミナーは
体あたり

第47回世田谷おはなしネットワーク講演会 『サツちゃん』の詩人 父・阪田寛夫を語る

セミナー／地域と市民活動 Seminar / Local Community

48

セミナー／地域と市民活動

Seminar / Local Community



会員限定のライブ配信も行った



DATA

- 開催日時 → 2020年10月29日(木)
10:00～12:00
- 会場 → セミナールームAB
- 講師 → 内藤啓子(エッセイスト)
- 参加人数 → 92名(内オンライン参加44名)
- 資料代 → 100円

おはなしの会、さらなる発展を目指して
「世田谷おはなしネットワーク
ク※」との共催事業は、今年
で20回目を迎えた。毎年、お
はなし会「おはなしいっぱい」
と2回の講演会を実施
しているが、今年は新型コロ
ナウイルス感染症の影響に
より、内藤啓子氏の講演会の
み開催した。

内藤氏は父・阪田寛夫氏が
作曲した「サツちゃん」「お
なかのへるうた」といった懐
かしの名曲を流しながら家
族の思い出を語り、会場は大
いに盛り上がった。

※1997年活動開始。世田谷区内で活動する複数のおはなしの会が連携し、図書館などで活動中。現在、60のグループ・個人会員から成る。

取り上げた作品
長田弘「ねこに未来はない」
梨木香歩「家守綺譚」
杉みき子「小さな町の風景」
斎藤隆介「花さき山」
武田百合子「ことばの食卓」
荒木源「オケ老人！」
芥川龍之介「魔術」
須賀敦子「旅のむこう」
江國香織「晴れた空の下で」

声の出し方や読み方のプロであるNHK日本語センターのアナウンサーが講師となつて、ことばの豊かな名作にふれながら楽しく学ぶ朗読セミナー。春は、新型コロナウイルス感染拡大を鑑み開講が見送られたが、夏からは、フェイスシールドやマスクなど感染防止策を講じて再開された。不安を感じながらも、開講を心待ちにしていた受講者たち。声に出して物語を表現する楽しさは、いつもの場所に集いともに学ぶ環境の中でこそ生まれていたことを実感する1年となつた。

DATA

- 開催日時 → 年3回(7月期、12月期、2月期)
各4講座(水曜午前・午後、木曜午後、金曜午後)
※新型コロナウイルス感染症の影響により4月期および2021年3月の朗読発表会は中止した。
- 会場 → セミナールームA
- 講師 → 一般財團法人NHK放送研修センター日本語センター
- 参加人数 → 480名
- 参加費 → 20,800円(4回分)、アーツカード会員は18,800円
- 共催 → 一般財團法人NHK放送研修センター日本語センター

情景を思い浮かべながら
「ことば」を朗読する

朗読講座 豊かなことばの世界



DATA

- 開催日時 → 2020年12月13日(日) 14:00～16:30
- 会場 → セミナールームAB
- 対象 → 10歳～18歳くらいの方
- 参加人数 → 96名(内オンライン参加53名)
- 参加費 → 会場、オンラインとともに500円
- 協力 → 株式会社オリィ研究所、三好史子

中学1年生男性の声●オリィさんが今までどのような信念をもって生きてきたかを知れた。
10代に向けたセミナー
OriHimeで会いにゆく
——孤独を消すためのテクノロジー
人々の孤独をテクノロジーが解決する時代
口ボットコミュニケーターの吉藤オリイ氏が開発したOriHimeは、遠くはなれていても、会いたい人に会いにゆくことができる分身ロボット。オリイ氏は17歳から「孤独の解消」を目標に口ボットを開発してきた。その研究開発により、病気で寝たきりになつた人や、不登校・ひきこもり、様々な理由で孤独を抱える人が、OriHimeをつかつて家にいながら仲間と仕事をしたり、家族と一緒に旅することも可能になつた。そして今年、コロナ禍の根県に住むロボットパイロットの三好史子氏も登場。また会場のOriHimeから島OriHimeを使ったお店の接客など実際の体験談を教えてもらつた。

中学生の声●オリィさんが今までどのような信念をもって生きてきたかを知れた。



OriHimeからロボットパイロットの三好史子氏も登場



講師：高橋淳之氏(NHK日本語センター)

世田谷市民活動支援会議

NPO・市民活動のためのステップ・アップ講座
これから時代における
市民活動のつながりを考える

支えるためのネットワーク
市民活動を

コロナ禍で考える、
市民活動の未来

世田谷区ではNPOやボランティア団体など、様々な市民活動団体が盛んに活動している。

「世田谷市民活動支援会議」(通称ネッティ)はより良い地域社会をつくるための市民活動を支援する会議体として、行政で

ある世田谷区と、活動場所や助成金の提供など多様な形で活動を支える中間支援団体で構成されている。今年度はコロナ禍のため、連絡会議では、各団体が現状を話し合う情報交換のみとなつたが、市民活動支援会議として毎年作成している、

市民活動を行う上での役立つ情報をまとめた冊子「知つ得情報2021」を発行した。

- 他の構成団体
世田谷区生活文化政策部市民活動・生涯現役推進課
社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会
一般財団法人世田谷トラストまちづくり
社会福祉法人世田谷ボランティア協会
特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会
社会福祉法人共生会SHOWA
特定非営利活動法人まちこらぼ



【翌日の医者】
開催日時 → 2021年3月27日(土) 14:00 ~ 17:00
【死ぬこと/生き延びること】
開催日時 → 2021年3月28日(日) 14:00 ~ 17:00
会場 → ワークショッフルームB
講師 → 松本卓也(精神科医)
対象 → 18歳以上の方
参加費 → 各日3,000円



1日目は、非日常的な出来事の後に、人はいかにして日常を取り戻し、再構築していくのか、手掛かりにして皆で語り合った。2日目は、「死」について考察した哲学者・ハイデガーと「生き延びること」について論じる社会学者・上野千鶴子の思想から、現代の臨床について活発な議論が展開された。



せたがやアカカブの会
【vol.23(特別編)「病の記憶】
募集期間 → 2020年10月11日(日)~11月16日(月)
【vol.24(遠隔開催)「節分】
募集期間 → 2021年1月14日(木)~2月21日(日)
企画制作 → remo[NPO法人記録と表現とメディアのための組織]

世田谷区民から提供をうけた8ミリフィルムのアーカイブと公開・活用を行う企画。今年度は、2020年4月5日まで開催を予定していた大型展「世田谷クリニカル」が会期途中でやむなく中止となつたことをうけ、展覧会の記録を作成し、「季刊生活」および生活工房ホームページページで公開した。



また、定例上映会「せたがやアカカブの会」も「高齢の方が多いこともあり対面での開催を中止。代わりに、葉書を介したプログラムを開始した。初回は「病の記憶」。時代ごとに異なる闘病や流行り病の記憶など、今年ならではの個々の記憶が届いた。



DATA

- 【第1回「コロナ禍での課題や取組を振り返ってみよう】
開催日時 → 2021年3月6日(土) 14:00 ~ 16:30
進行 → 呉哲煥(NPO法人CRファクトリー 代表理事)
講師 → 松田妙子(NPO法人せたがや子育てネット代表理事)、
鈴木佑輔(社会福祉法人世田谷ボランティア協会)



- 【第2回「これからの市民活動団体同士のつながりを考えてみよう】
開催日時 → 2021年3月14日(日) 14:00 ~ 16:30
進行 → 呉哲煥(NPO法人CRファクトリー 代表理事)
講師 → 西川正(NPO法人ハンズオン埼玉 常任理事)
会場 → ワークショッフルームA
参加費 → 各回1,000円
企画 → 株式会社世田谷社



(すべて過去の開催風景)

世田谷区ではNPOやボランティア団体など、様々な市民活動団体が盛んに活動している。「世田谷市民活動支援会議」(通称ネッティ)はより良い地域社会をつくるための市民活動を支援する会議体として、行政で

ある世田谷区と、活動場所や助成金の提供など多様な形で活動を支える中間支援団体で構成されている。今年度はコロナ禍のため、連絡会議では、各団体が現状を話し合う情報交換のみとなつたが、市民活動支援会議として毎年作成している、

市民活動を行う上での役立つ情報をまとめた冊子「知つ得情報2021」を発行した。

- 他の構成団体
世田谷区生活文化政策部市民活動・生涯現役推進課
社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会
一般財団法人世田谷トラストまちづくり
社会福祉法人世田谷ボランティア協会
特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会
社会福祉法人共生会SHOWA
特定非営利活動法人まちこらぼ



今年度は、CRファクトリーの呉哲煥氏の進行のもと、「これまでの活動を振り返る機会にもなつたのではないだろうか。」と題して開催。初回は、NPO法人せたがやの時代における市民活動のつながりを考える」と題して開催。今年度は、CRファクトリーの呉哲煥氏の進行のもと、「これまでの活動を振り返った。第2回ではNPO法人ハンズオン埼玉の西川正氏とともに、オンラインインツールを活用した団体同士の交流を再考した。

世田谷区ではNPOやボランティア団体など、様々な市民活動団体が盛んに活動している。「世田谷市民活動支援会議」(通称ネッティ)はより良い地域社会をつくるための市民活動を支援する会議体として、行政で

ある世田谷区と、活動場所や助成金の提供など多様な形で活動を支える中間支援団体で構成されている。今年度はコロナ禍のため、連絡会議では、各団体が現状を話し合う情報交換のみとなつたが、市民活動支援会議として毎年作成している、

市民活動を行う上での役立つ情報をまとめた冊子「知つ得情報2021」を発行した。

- 他の構成団体
世田谷区生活文化政策部市民活動・生涯現役推進課
社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会
一般財団法人世田谷トラストまちづくり
社会福祉法人世田谷ボランティア協会
特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会
社会福祉法人共生会SHOWA
特定非営利活動法人まちこらぼ



今年度は、CRファクトリーの呉哲煥氏の進行のもと、「これまでの活動を振り返った。第2回ではNPO法人ハンズオン埼玉の西川正氏とともに、オンラインインツールを活用した団体同士の交流を再考した。

世田谷区ではNPOやボランティア団体など、様々な市民活動団体が盛んに活動している。「世田谷市民活動支援会議」(通称ネッティ)はより良い地域社会をつくるための市民活動を支援する会議体として、行政で

ある世田谷区と、活動場所や助成金の提供など多様な形で活動を支える中間支援団体で構成されている。今年度はコロナ禍のため、連絡会議では、各団体が現状を話し合う情報交換のみとなつたが、市民活動支援会議として毎年作成している、

市民活動を行う上での役立つ情報をまとめた冊子「知つ得情報2021」を発行した。

- 他の構成団体
世田谷区生活文化政策部市民活動・生涯現役推進課
社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会
一般財団法人世田谷トラストまちづくり
社会福祉法人世田谷ボランティア協会
特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会
社会福祉法人共生会SHOWA
特定非営利活動法人まちこらぼ



今年度は、CRファクトリーの呉哲煥氏の進行のもと、「これまでの活動を振り返った。第2回ではNPO法人ハンズオン埼玉の西川正氏とともに、オンラインインツールを活用した団体同士の交流を再考した。

世田谷区ではNPOやボランティア団体など、様々な市民活動団体が盛んに活動している。「世田谷市民活動支援会議」(通称ネッティ)はより良い地域社会をつくるための市民活動を支援する会議体として、行政で

ある世田谷区と、活動場所や助成金の提供など多様な形で活動を支える中間支援団体で構成されている。今年度はコロナ禍のため、連絡会議では、各団体が現状を話し合う情報交換のみとなつたが、市民活動支援会議として毎年作成している、

市民活動を行う上での役立つ情報をまとめた冊子「知つ得情報2021」を発行した。

- 他の構成団体
世田谷区生活文化政策部市民活動・生涯現役推進課
社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会
一般財団法人世田谷トラストまちづくり
社会福祉法人世田谷ボランティア協会
特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会
社会福祉法人共生会SHOWA
特定非営利活動法人まちこらぼ



今年度は、CRファクトリーの呉哲煥氏の進行のもと、「これまでの活動を振り返った。第2回ではNPO法人ハンズオン埼玉の西川正氏とともに、オンラインインツールを活用した団体同士の交流を再考した。

世田谷区ではNPOやボランティア団体など、様々な市民活動団体が盛んに活動している。「世田谷市民活動支援会議」(通称ネッティ)はより良い地域社会をつくるための市民活動を支援する会議体として、行政で

ある世田谷区と、活動場所や助成金の提供など多様な形で活動を支える中間支援団体で構成されている。今年度はコロナ禍のため、連絡会議では、各団体が現状を話し合う情報交換のみとなつたが、市民活動支援会議として毎年作成している、

市民活動を行う上での役立つ情報をまとめた冊子「知つ得情報2021」を発行した。

- 他の構成団体
世田谷区生活文化政策部市民活動・生涯現役推進課
社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会
一般財団法人世田谷トラストまちづくり
社会福祉法人世田谷ボランティア協会
特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会
社会福祉法人共生会SHOWA
特定非営利活動法人まちこらぼ



今年度は、CRファクトリーの呉哲煥氏の進行のもと、「これまでの活動を振り返った。第2回ではNPO法人ハンズオン埼玉の西川正氏とともに、オンラインインツールを活用した団体同士の交流を再考した。

世田谷区ではNPOやボランティア団体など、様々な市民活動団体が盛んに活動している。「世田谷市民活動支援会議」(通称ネッティ)はより良い地域社会をつくるための市民活動を支援する会議体として、行政で

ある世田谷区と、活動場所や助成金の提供など多様な形で活動を支える中間支援団体で構成されている。今年度はコロナ禍のため、連絡会議では、各団体が現状を話し合う情報交換のみとなつたが、市民活動支援会議として毎年作成している、

市民活動を行う上での役立つ情報をまとめた冊子「知つ得情報2021」を発行した。

- 他の構成団体
世田谷区生活文化政策部市民活動・生涯現役推進課
社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会
一般財団法人世田谷トラストまちづくり
社会福祉法人世田谷ボランティア協会
特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会
社会福祉法人共生会SHOWA
特定非営利活動法人まちこらぼ



今年度は、CRファクトリーの呉哲煥氏の進行のもと、「これまでの活動を振り返った。第2回ではNPO法人ハンズオン埼玉の西川正氏とともに、オンラインインツールを活用した団体同士の交流を再考した。

世田谷区ではNPOやボランティア団体など、様々な市民活動団体が盛んに活動している。「世田谷市民活動支援会議」(通称ネッティ)はより良い地域社会をつくるための市民活動を支援する会議体として、行政で

ある世田谷区と、活動場所や助成金の提供など多様な形で活動を支える中間支援団体で構成されている。今年度はコロナ禍のため、連絡会議では、各団体が現状を話し合う情報交換のみとなつたが、市民活動支援会議として毎年作成している、

市民活動を行う上での役立つ情報をまとめた冊子「知つ得情報2021」を発行した。

- 他の構成団体
世田谷区生活文化政策部市民活動・生涯現役推進課
社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会
一般財団法人世田谷トラストまちづくり
社会福祉法人世田谷ボランティア協会
特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会
社会福祉法人共生会SHOWA
特定非営利活動法人まちこらぼ



今年度は、CRファクトリーの呉哲煥氏の進行のもと、「これまでの活動を振り返った。第2回ではNPO法人ハンズオン埼玉の西川正氏とともに、オンラインインツールを活用した団体同士の交流を再考した。

世田谷区ではNPOやボランティア団体など、様々な市民活動団体が盛んに活動している。「世田谷市民活動支援会議」(通称ネッティ)はより良い地域社会をつくるための市民活動を支援する会議体として、行政で

ある世田谷区と、活動場所や助成金の提供など多様な形で活動を支える中間支援団体で構成されている。今年度はコロナ禍のため、連絡会議では、各団体が現状を話し合う情報交換のみとなつたが、市民活動支援会議として毎年作成している、

市民活動を行う上での役立つ情報をまとめた冊子「知つ得情報2021」を発行した。

- 他の構成団体
世田谷区生活文化政策部市民活動・生涯現役推進課
社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会
一般財団法人世田谷トラストまちづくり
社会福祉法人世田谷ボランティア協会
特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会
社会福祉法人共生会SHOWA
特定非営利活動法人まちこらぼ



今年度は、CRファクトリーの呉哲煥氏の進行のもと、「これまでの活動を振り返った。第2回ではNPO法人ハンズオン埼玉の西川正氏とともに、オンラインインツールを活用した団体同士の交流を再考した。



DATA

場所 → 生活工房 3F
開館時間 → 9:00 ~ 21:00(月曜休館)
※2020年3月31日~6月15日は臨時休館。
緊急事態宣言期間中は、閉館時間を20:00に変更した。
委託先 → 特定非営利活動法人国際ボランティア協会(IVUSA)
来場人数 → 5,494名(2020年4月1日~2021年2月28日)

(撮影 = 高田洋三)



市民活動支援コーナーは、区内で様々な活動を行っている市民活動団体が登録し利用できる「活動の場」である。日常的な打ち合わせや講座などに利用できるほか、幅広い団体の活動情報も掲示、配布している。作業スペースにはパソコンや大判プリンターも設置され、各団体がチラシや資料づくりに活用している。

更なる充実を目指して、昨年度末から改修を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月のリニューアル・オープンは見

送られて、6月15日まで臨時休館となつた。施設の再開後も区の施設ガイドラインに則つて、使用者の上での制約はあるが、それぞれの団体が、新しい活動スタッフを模索しながら徐々にイルを摸索しながら徐々に活用を始めている。

新しい市民活動支援コーナーは、A・B・Cスペースが木の単管で組まれて、開放的で広く明るい印象になつた。新しい生活様式のもとで、新しい市民活動の活性化を目指す、これから市民活動支援コーナーに注目してほしい。

新しくなった支援コーナーの
「これから」に注目!

市民活動支援コーナー



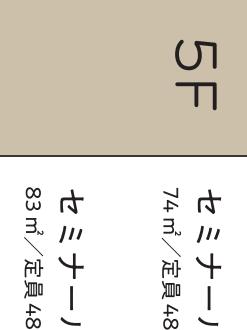
生活工房施設ガイド

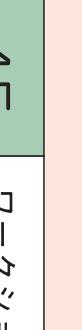
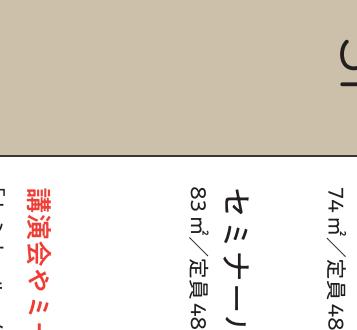
生活工房では多彩な設備を備えたスペースで独自の企画を行なうほか、市民団体などにお部屋を貸し出しています。

スペースごとに登録条件・利用方法などが異なりますので、

詳細はお問い合わせください。

▶ RENTAL OK : 貸出対象スペース

5F セミナールーム A ▶ RENTAL OK 74m ² ／定員48名／利用時間9:00～22:00 セミナールーム B ▶ RENTAL OK 83m ² ／定員48名／利用時間9:00～22:00
 講演会やミーティングに最適 「セミナールーム」は、講習会や会議に適したスペースです。プロジェクターを含む映像・音響設備も備え、効果的なプレゼンテーションが可能です。A・B各部屋の可動式間仕切りを外せば最大で120名(机椅子使用時は108名)まで収容できます。


4F ワークショッフルーム A ▶ RENTAL OK 126m ² ／定員50名／利用時間9:00～22:00 ワークショッフルーム B ▶ RENTAL OK 145m ² ／定員50名／利用時間9:00～22:00
 ものづくりや展示を楽しむ 「ワークショッフルームA」は、ものづくりやトークイベントに対応したスペースで、併設されたキッチン(63m ²)には、各種厨房用品も備えています。多人数の交流会にも最適です。  ワークショッフルーム B は、扇形の壁面が特徴的な展示スペースです。可動パネルで室内のレイアウト変更ができる、多様な展示が行えます。音響や映像機器を使った集会等の開催も可能です。


55

54

施設ガイド

Floor Guide

3F

生活工房ギャラリー

開館時間9:00～21:00

市民活動支援コーナー

開館時間9:00～22:00

生活工房の展示や市民活動の拠点

「生活工房ギャラリー」は、暮らしのデザインやクラフト、異文化理解などをテーマに、生活工房が主催する企画展示を行っています(一般への貸出はしていません)。「市民活動支援コーナー」は、世田谷で活動している市民活動団体が打ち合わせや作業を行うことができるスペースです。パソコンや印刷機などの利用も可能です(有料)。



生活工房へのアクセス

世田谷線
三軒茶屋駅

エレベーター

EV

1F

B1F

入出

エレベーター

▲

▼

エレベーター

エレベーター</p

3F生活工房ギャラリーと4Fワークショッフルームの2フロアを使った
 「大型展示」としては、2020年度唯一の企画となった
 「しめかざり展」(P.38-39参照)。コロナ禍で郷里への帰省を取りやめた人が
 田舎のしめかざりに再会したり、疲れた心を癒すの間癒したり。
 普段とは少し異なる傾向の感想が、来場者アンケートには散見されました。
 回収したアンケートは26日間で584枚。その中から主だった声を紹介します。



57

コロナ禍でおちこんだ気分でしたので、改めて新鮮な気持ちになりました。とても静寂な空間をありがとうございます。

60代女性

56

しばらく大きな展示をされてこなかった生活工房でこの大規模な展示をしていたことに感謝。暗めの部屋で説明を入れず、大胆に展示されたところがよい!

40代女性

劇場の帰りに偶然通りかかっただけですが、いいものを見せていただきました。出身が三重で伊勢神宮もあり、子ども時代はよく、しめ縄を見ていました。車などに飾っていたのが懐かしいです。今年は飾ってみたいです。

20代女性

昨日来て、今日も来ました。

30代男性



私は会津若松出身で、ここでふるさとのしめかざりに出会えるとは思いませんでした。今年はコロナで田舎に戻らないので、お正月気分を味わわせてもらいました。

50代女性

東博に売り込みましょう!
 十分通用すると思います。

40代女性

コロナでなければ実習もやってみたかったです。大変な時期なのでご苦労様です。

70代女性

とても充実した展示でした。毎年しめ飾りを作るうの連れを伴って来ればよかったです。来場した人の表情が、これほどなごやかな展示は初めてかも。

50代女性

コロナで旅行になかなか行けませんが、旅行に代わる学びと発見、感動がありました。都内在住でしめ飾りを作ったこともなく、スーパーの味気ない飾りにあまり意味を見出しが出来ていませんでしたが、作り手があり、意味があり、暮らしが、思いがあることが分かり、この行事を大切にしたいと思いました。また各地方の暮らしから学び、楽しみたいと思いました。

30代女性

友人のインスタでとても気になり(15分前)、バスに飛び乗りました。見応えあり。良い内容です。ビデオも良し。何よりしめ縄の展示美しかった。年末に良き時間をもらいました。

60代女性

数字で見る生活工房

2020.4.1 - 2021.2.28

事業数

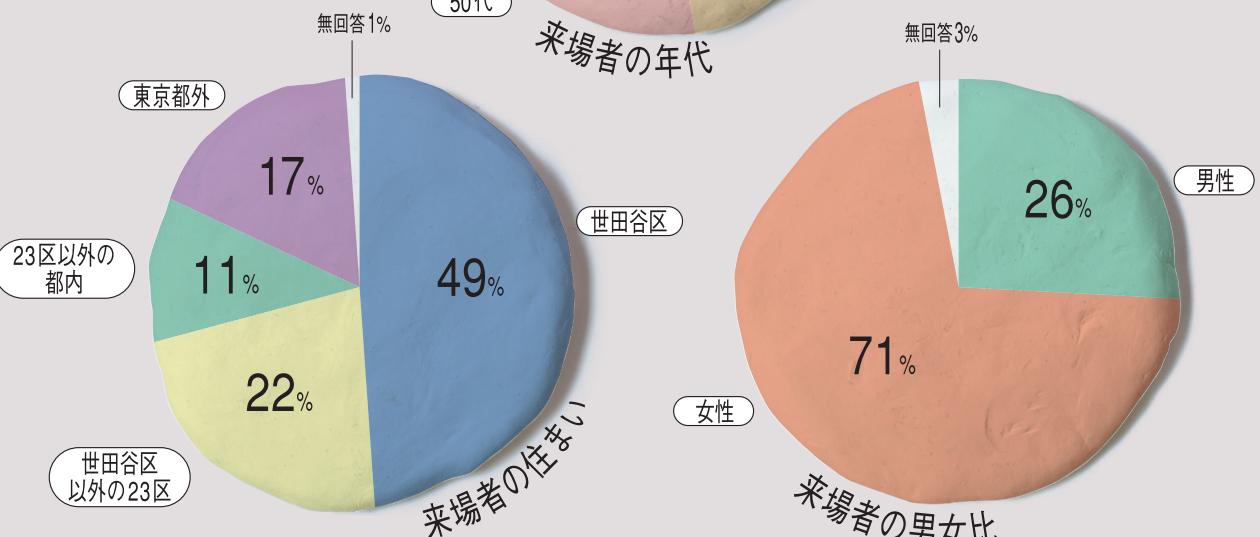
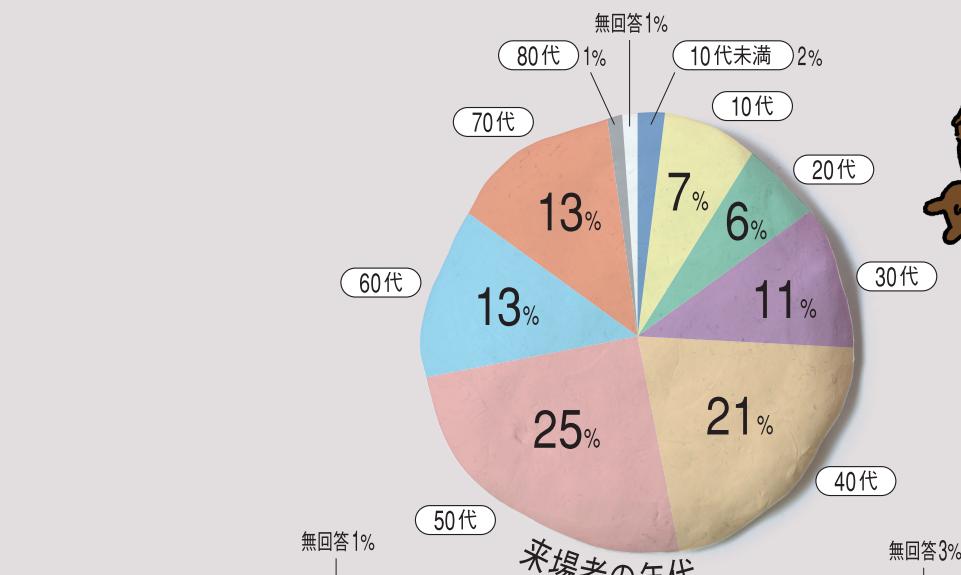
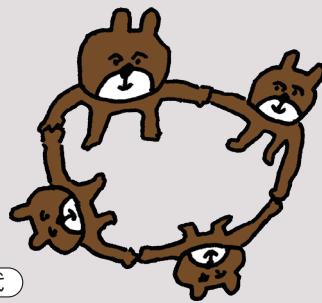
事業総数 31件

展覧会	5件
展覧会関連イベント	8件
ワークショップ	3件
セミナー・イベント	13件
地域と市民活動	2件

来場者数

来場者総数 38,970人

展覧会	21,804人
展覧会関連イベント	325人
ワークショップ	88人
セミナー・イベント	576人
地域と市民活動	5,586人
貸館使用者・来場者	10,591人



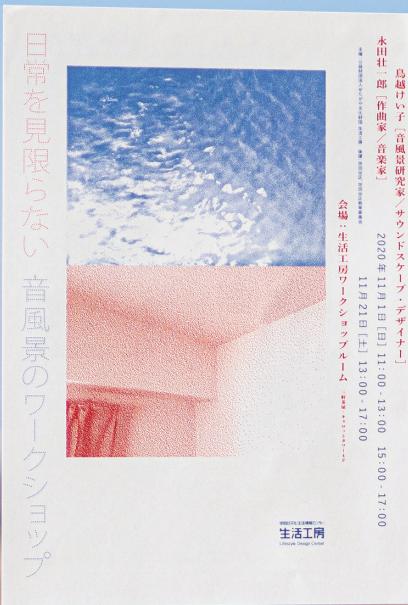
※2020年度来場者アンケート(2020年4月1日-2021年1月31日)1704件のデータより

生活工房 フライヤー

2020 2021

59

58



日常を見限らない
音風景のワークショップ
2020.11.1 SUN / 11.21 SAT
@生活工房ワークショップルームAB
デザイン=福岡南央子

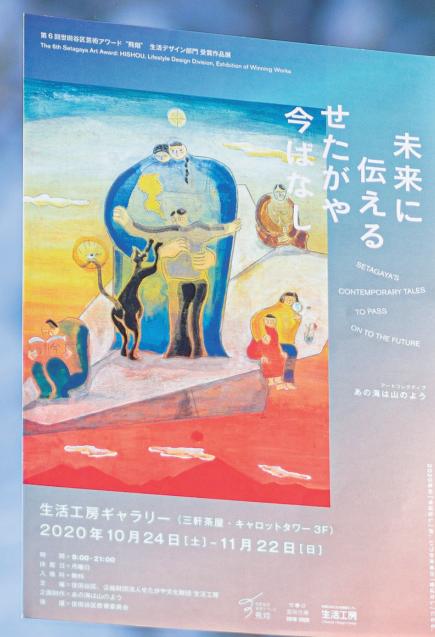


生活工房
夏の〈おうちで〉子どもワークショップ
2020
デザイン・イラストレーション=鈴木友唯



未来に伝える せたがや今ばなし

2020.10.24 SAT - 11.22 SUN
@生活工房ギャラリー
デザイン=浦川彰太
イラストレーション=椎木彩子



季刊 生活

2020 - 2021

デザイン=牧寿次郎



61

60



生活工房 バックヤード展

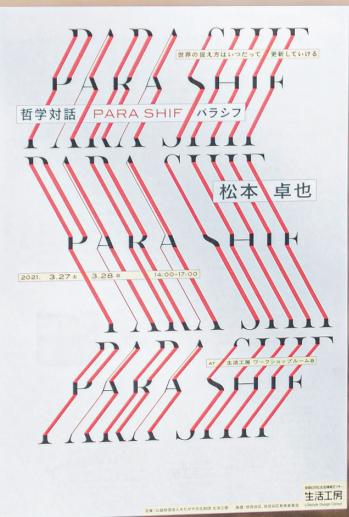
2021.1.23 SAT – 2.21 SUN

@生活工房ギャラリー

デザイン=Tanuki

写真=生活工房

会場:生活工房ギャラリー
開催期間:2021年1月23日(土)~2月21日(日)
開館時間:午前10時~午後5時
休館日:毎週水曜日
料金:無料



哲学対話 PARA SHIF

2021.3.27 SAT / 3.28 SUN

@生活工房ワークショップルームB

デザイン=福岡南央子



大平農園と畑のレシピ帖展

2021.3.2 TUE – 6.27 SUN

@生活工房ギャラリー

デザイン=坂川朱音(朱猫堂)

イラストレーション=伊藤ハムスター

会場:生活工房ギャラリー
開催期間:2021年3月2日(火)~6月27日(日)
開館時間:午前9時~午後5時
休館日:毎週水曜日
料金:無料



'18



'16



'13



'10



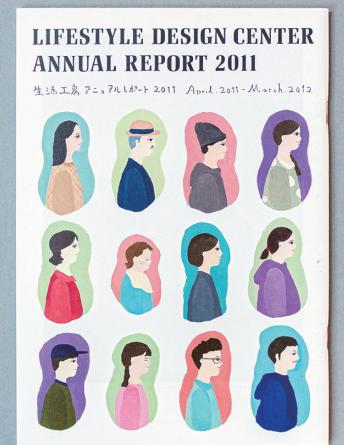
'19



'17



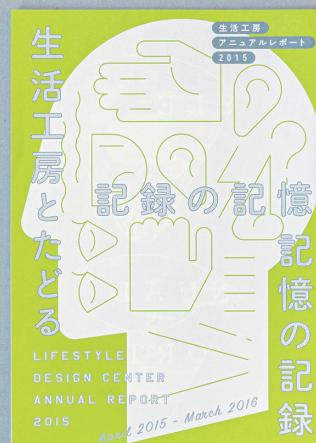
'14



'11

生活工房 アニュアルレポート の 10年

- 2010 デザイン = Allright Graphics
- 2011 デザイン = Allright Graphics / イラストレーション = 森本将平
- 2012 デザイン = 坂本陽一(mots) / 写真 = 山本光恵
- 2013 デザイン = グルーヴィジョンズ / 写真 = 永峰拓也
- 2014 デザイン = 片山中藏 / イラスト = 塩川いづみ
- 2015 デザイン = 土屋勇太
- 2016 デザイン = いすたえこ(NNNNY)、堀翼 / イラスト = 間芝勇輔
- 2017 デザイン = 大原大次郎 / 写真 = 池田晶紀(ゆかい)
- 2018 デザイン = 片山中藏
- 2019 デザイン = 溝端貢(ikaruga)



'15



'12



ご支援・ご協力いただいた企業、団体、教育・公共機関等
(各50音順・敬称略)

共催

(一財)NHK放送研修センター日本語センター、NPO法人国際ボランティア学生協会、
世田谷おはなしネットワーク、世田谷区、世田谷区生活文化政策部市民活動・生涯現役推進課、東京都、
(公財)東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京、remo[NPO法人記録と表現とメディアのための組織]

協力

大平農園、(株)オリイ研究所、(公財)下中記念財団、世田谷233、世田谷区農業青壮年連絡協議会、
等々力の歴史を語り継ぐ会、(株)ゆかい、若葉会

後援

世田谷区、世田谷区教育委員会

生活工房アニュアルレポートとは
生活工房の1年間の活動をまとめた記録・報告書です。

生活工房アニュアルレポート 2020

発行日 ◆ 2021年3月31日

編集協力 ◆ 杉本勝彦

デザイン ◆ Allright Graphics

デザイン(P.10-31、P.58-63)・写真 ◆ 岡本太玖斗

イラスト・立体 ◆ 日高基

協賛 ◆ 株式会社東急コミュニケーションズ

印刷 ◆ 株式会社山田写真製版所

編集・発行 ◆ 公益財団法人せたがや文化財団 生活工房

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー

電話 03-5432-1543 ファックス 03-5432-1559

メール info@setagaya-ldc.net

<https://www.setagaya-ldc.net>

本書の無断転写、複製、転載を禁じます。

©Setagaya Arts Foundation Lifestyle Design Center 2020-2021
Printed in Japan

